

市政懇談会(橘公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年8月25日(木)19:30~21:07

参加者：94名(市民 79名、職員 15名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、
市政懇談会開催日時点のものであります。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
1	<p>・人口減について、合併してから現在まで約5,000人減少しており、特にこの4年ほど減り続けている。様々な取組をしているのはよく分かるが、特色のある街でないと、人は集まらないと思う。</p> <p>四国八十八か所等で来られた方を対象に、西条市に宿泊して、西条市の魅力を味わってもらうために、空家バンクに登録している空家を無料開放して泊まってもらうのはどうか。</p> <p>外国の方がたくさん回っているが、例えば外国の方が空家に宿泊し、そこに子供を集めて外国語教室をすとか、楽しいイベントを実施し、それを外国の方が自国へフェイスブックやSNSで発信して、西条市を紹介する。そうすると、西条に興味を持ち移住したくなるという人も出てくるかもわからない。</p> <p>「町おこし協力隊」というのがあがるが、都会の人は自然と共存したいとか、人との繋がりを大事にしたい、自分の手で物を作りたいと思っている人が多いと思う。そういう点では、西条市の環境は適していると思う。</p> <p>空家を無料開放し、仕事も斡旋し、人を呼び込むようなことをやってもらいたい。西条が面白くて行ってみたいというような、夢のある面白い町の取組を考えてほしい。</p> <p>若者や子どもに視線を置いた取組を考えてほしい。</p>	<p>【市長】</p> <p>・合併してから、人口は約5,000人程減りました。人口維持をしていくことが、町の活力の一つの指標だと思います。ハードルが高いですが、目指していかないとはいけません。西条市をもっとPRして、全国区の町にしていきたいと思っています。</p> <p>今治造船はLNG船の建造を始めました。クラレ、花王は工場を増設しています。新しい雇用が生まれ、定住人口が増えるように、市も、企業支援をしていかないとはいけません。</p> <p>西条に滞在してくれるという点では、スポーツ合宿もありがたいです。大学生、実業団等が市内のホテルに滞在してくれるので、経済効果があります。何かもう一つ「ピン」とくるようなものが必要だと思います。</p> <p>東京辺りでPRするのが手っ取り早いと思います。今、思っているのが、昨年度、西条市で上演した、東京でも有名な十河信二さんのミュージカルを、来年は世界的に有名な、佐伯勇さん、松木幹一郎さんなど西条市出身の方も含めた、「あらすじ」でやりたいと思っています。それで「西条」という認識を持ってもらえると思います。多方面に発信しながら、西条のブランド力を高めていきたいと思っています。西条の春の七草も、東京辺りに流通しているので、西条の商品が、ブランドになって価値が上がる、そういう取組をこれからやっていきたいと思っています。</p>	—	・企画情報部
2	<p>・千人塚は文化的な遺産だと思う。市外から観光バス等で、見学に来ることも多い。</p> <p>しかし、トイレについては、使用したい方がいても、簡易トイレなのであまり使用されることもない。</p> <p>都市整備計画で平成29年度が最終年度ということであるため、平成29年度中に公共下水接続の検討をしてほしい。</p>	<p>【市長】</p> <p>・下水区域の見直しについては、見直し後、下水につないで整備の方向で考えたいので、もう1年待つてほしいと思います。</p> <p>【建設部長】</p> <p>・現在は認可区域外ですが、平成29年度の見直しで、認可区域に入ることができたら、平成30年度で公共下水への接続の方向で、検討していきたいと考えています。</p>	—	・建設部
3	<p>・いきいきバス制度はありがたい。しかし、足の弱い方、バス停までの距離が遠い高齢者のために、移動スーパーのようなものを考えてほしい。</p>	<p>【市長】</p> <p>・いきいきバスは、前の制度の中では、利用率は低かったのですが、今回の見直しで路線も増えたので、多くの人に使ってもらいたいと思っています。また利用率が上がると、対象年齢の引き下げも考えたいです。移動スーパーは、9月5日からJA周桑が参入することになり、楠河、中川、庄内などへ回るように聞いています。市が直接ということではできませんが、生協とかに働きかけていきたいと考えています。</p>	<p>・民間事業者の取り組みとして、大手スーパー等による配達サービスのほか、本年8月末から市内事業所の車両による移動販売が東予、丹原地区で開始されたところ。また、新居浜市の事業者が、四国中央市から西条市までを範囲とした移動スーパーを、平成28年1月にスタートしており、今後も民間事業者の動きを、注視していきたいと思っています。</p>	・産業経済部

市政懇談会(橋公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年8月25日(木)19:30~21:07

参加者：94名(市民 79名、職員 15名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、
市政懇談会開催日時点のものであります。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
4	<p>・橋校区には、学校の運動場以外に、児童や幼児が遊べるスペースがない。学校も土日は門が閉まった状態に入れない。トイレや運動場がある広場的なものを作ってほしい。</p> <p>・野々市の「みんなの広場」は、近くに川があり、段差もあり、子どもが安全に遊べるという観点からは活用できていない。</p> <p>・「みんなの広場」事業以外に、何か取り組むことはできないか。</p>	<p>【保健福祉部長】</p> <p>・子育て支援課の事業で、クローカーをしたり、子どもが遊んだりできるような、約1,000㎡ぐらいの広さの「みんなの広場」を市内に設置しています。遊具はありませんが、トイレ、水道を備えています。用地は借地で、借地代と造成については、市で対応し、管理は自治会がしてくれています。既存の「みんなの広場」から、1km以内には設置しないという方針があります。</p> <p>この辺りでは、西は野々市に、東は橋に「みんなの広場」がありますが、1km離れたところに土地を確保できたら設置することは可能です。</p> <p>【教育委員会管理部長】</p> <p>・学校が土日閉まっているとのことですが、開放に向けて学校と相談します。</p> <p>【市長】</p> <p>・危険であれば廃止し、新しいところに作るなどしたらいいと思います。また相談してください。また、土日に学校の開放をしたらいいと思うので、相談させてもらいたいと思います。</p>	<p>・橋校区には、学校以外に、1,000㎡程度の広さを有する広場として、西に「野々市みんなの広場」、東に「橋みんなの広場」があります。</p> <p>みんなの広場は、地元の要望により設置するもので、借地による土地の確保は、地元で行っていただきます。造成工事や借地料は、市の負担で行いますが、施設の管理は地元で行っていただきます。新たに、「みんなの広場」を設置するには、既存の「みんなの広場」から1km以上離れた場所に、借地で整備できる1,000㎡程度の土地を、地元により確保していただく必要があります。</p> <p>「みんなの広場」は、地権者との契約期間を原則10年としており、それ以降に、特段の申し出がなければ、引き続き2年ごとの自動更新となっています。「野々市みんなの広場」は、地元からの要望により、平成23年度に設置し、契約期限が平成33年3月31日までとなっており、契約期限までの契約解除は難しいものと考えます。従いまして、引き続き、現在の施設を利用されるか、又は「橋みんなの広場」や学校等を利用させていただきたいと思っております。</p> <p>現在の施設が危険等であると思われる場合は、場所の変更を希望される場合は、地元で協議され、契約期限までに新たに別の場所を選定されれば、契約期限満了後に現在の施設を廃止し、別の場所に整備することは可能です。</p> <p>・土日の学校の利用については、門扉は閉めていますが、施設はしておらず、児童が来校した際は、自由に遊べるようにしています。</p> <p>学校を通じて、再度児童や保護者にも周知するとともに、不審者対策として、複数や保護者同伴で利用するよう、指導したいと思います。</p>	<p>・保健福祉部 ・教育委員会指導部</p>
5	<p>・国道11号のサンワマンションの南側は、歩道がついているが、北側はついていない。歩道をつけてほしい。</p>	<p>【建設部長】</p> <p>・国道の歩道について、国土交通省に要望することになりますが、南側手(山側手)には歩道が連続した形でついています。国は、まずは片側手から整備していると思いますが、橋のところについては危ないと思うので、局部的に設置できないか、国に話をしてみたいと思います。</p>	<p>・8/31(水)、国土交通省四国地方整備局西条国道維持出張所に問い合わせたところ、「現地を確認し、今後、安全対策について検討していきたい。」との回答を頂きました。</p>	<p>・建設部</p>
6	<p>・サツキマスの養殖について、現在はどうなっているのか。その後の状況は、市報に掲載したのか。</p>	<p>【副市長】</p> <p>・サツキマスの養殖ですが、清流魚のアメゴを、人工的に気水から海水へ移すのですが、海水温度が低くないと育ちません。その海水を冷たくする方法として「水素吸蔵合金」という特殊な技術を使いました。この「水素吸蔵合金」の実験でアメゴの養殖を行い、1.2キログラムのサツキマスに成長させることができ、事業は成功しました。</p> <p>しかし、「水素吸蔵合金」を作るために必要な、レア・アースなどの価格が高騰したため、経済的に成り立たないため、事業化する人がいません。クラレでの実験は一応終了し、現在は行っていません。そのことについては、市報でも報告しています。</p>	<p>—</p>	<p>・産業経済部</p>

市政懇談会(橘公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年8月25日(木)19:30~21:07

参加者：94名(市民 79名、職員 15名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、
市政懇談会開催日時点のものであります。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
7	<p>・神戸には神戸公園、氷見には西部公園、禎瑞には石井記念公園があるが、橘には公園という公園がない。そこで、農業公園というものを作ってはどうか。碁盤の目になっている農地を、農家でない市民の方に貸して作ってはどうか。</p>	<p>【市長】 ・いろんな方面から検討したいと思います。</p>	<p>・橘地区には、「みんなの広場」、「野々市みんなの広場」、「千人塚広場」、「坂元児童遊園」があります。 ・また、西部地区には、都市公園の「西条西部公園」があり、隣接する「西条西部児童館」には遊具があるので、これらの既存施設を利用して頂きたいと考えています。 ・圃場整備実施農地については、優良農地として担い手に集積し、引き続き、効率的な農業経営を行うことにより、農家所得の向上を図り、西条市農業の振興に努めていきます。 ・なお、サラリーマン家庭など、市民の方々が小区画の農地を利用して作物を育てる「市民農園」については、現在、市内2カ所で開設していますが、現在のところ、橘地区を含め新たに開設する計画はありません。この「市民農園」については、民間による開設も可能であり、今後は、市民のニーズ等を把握した上で、柔軟に検討していきたいと思っています。</p>	<p>・農林水産部 ・保健福祉部 ・建設部</p>
8	<p>・8月11日に「山の日」ができたが、西条市に西日本最高峰の石鎚山があるが、市には「石鎚山がここにある」という自覚がないように思う。今後そのようなことを、どのように展開していくのか。</p>	<p>【市長】 ・女性の登山者も増えています。今年は、「山の日」に、山に関わる全国のイベントが松本市でありました。来年のことにはならないですが、5年先ぐらいには、是非、四国へ呼び込みたいと思います。西日本最高峰の石鎚山がある西条市が、手を上げない訳にはいかないと考えています。予算の面は、まだわかりませんが、是非誘致しないとイケないと思っています。注目を浴びることが大事です。ロープウェイか成就あたりで、イベントができたらと思い、これからも力を入れていきたいと思っています。</p>	—	<p>・産業経済部</p>
9	<p>・「山の日」のイベントに絡めて、ふるさと納税の謝礼品として、宿泊券を贈るなど、農産物以外の新鮮味のあるものを提案し、県外から西条市へ足を運んでもらうような施策を考えてほしい。</p>	<p>【市長】 ・ふるさと納税は、平成26年度は約800万円で、平成27年度は約4億9千600万円の寄付があり、約60倍になりました。大変ありがたいです。例えば、西条市をPRするために、東京でミュージカルをする為の費用や、石鎚のPRをする為の費用など、目的のために寄付を集めるようにすれば、皆さん応援してくれると思います。</p>	<p>・現在、石鎚山ロープウェイ乗車券、石鎚山体感ネイチャーガイド券、西条市内で使える宿泊クーポン、市内の施設での食事付宿泊券等は準備しておりますが、さらに西条市に来ていただけるような謝礼品への取り組みを、検討したいと思っています。</p>	<p>・財務部</p>
10	<p>・災害時に備えた「備蓄」に対する、市の考えはどのようなのか。また、「備蓄」に対して、どのようなものが必要なのか教えてほしい。</p>	<p>【市民安全部長】 ・食料については、この度の熊本地震で、自宅が崩壊して、備蓄品が取り出せない人が多く発生したという事例を教訓として、現在の備蓄食料に積み増しして、今年度から5年間でアルファ米を中心に、5万5千食を備蓄する予定としています。 食料以外では、市内101か所の避難所に、合計3,500枚の毛布を備蓄として設置しています。ケースバイケースで、避難所相互に融通することとしています。場合によっては市外、県外からの支援も求めるようにもします。 橘は「地区防災計画」についても、市内でも先進的に取り組んでいただいておりますが、自分たちでできることは自分たちでやっという計画を立ててもらいたいと思います。</p>	—	<p>・市民安全部</p>

市政懇談会(橋公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年8月25日(木)19:30~21:07

参加者：94名(市民 79名、職員 15名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、
市政懇談会開催日時点のものであります。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
11	・旧国道の交通量が増え、スピードを出している車も多く危険である。注意喚起の看板の設置と、橋地区に、「ゾーン30」の整備をお願いしたい。	<p>【建設部長】</p> <p>・通学路の関係で、今年の8月に警察、PTA、学校の先生、市の道路管理者と現地確認しました。上がってきた内容には、西田の分岐の通学路の話はありませんでしたが、来年も引き続き検討していきますので、よろしくお願いします。</p> <p>市の中心部の大町や、壬生川の方でも「ゾーン30」の表現をしています。通行量に関しては「ゾーン30」で指定しているところは、かなり多い自転車、歩行者、子どもの通学があるような地域に対して、歩行者を守るために警察が指定しています。橋に関しては、それほどのことではないと、警察も判断しているので、整備は難しいと思います。</p>	<p>・「ゾーン30」は、交通量や事故件数等を基に、区域を決定して、警察と道路管理者が、協働で整備を行っています。</p> <p>・旧西条市内では、特に事故件数の多い「神拝、大町校区」で整備を行いました。</p> <p>・9/1(木)、西条警察署に確認しましたところ、H23～H28年度にかけて、全国で約3千箇所の整備を行っており、今後、新たにゾーン30としての整備予定は無いとの回答でありました。</p> <p>・旧国道については、路肩のカラー舗装化を行うことで、通学児童の安全確保に努めていますが、危険箇所への注意喚起看板等の設置も検討して参ります。</p>	・建設部
12	・坂元の住吉池の危険個所に柵や看板等設置など、安全対策を講じてほしい。	<p>【市長】</p> <p>・具体的な場所を教えていただいて、現地を確認したいと思います。</p>	<p>・住吉池は、西条市橋土地改良区が管理者となっているため、まず、土地改良区と、安全対策等の協議をしていただきたいと思います。</p>	・農林水産部
13	・コミュニティ助成金で、アルミステージを要望しているが、2年連続で落選している。配慮してもらいたい。	<p>【市民安全部長】</p> <p>・市の方で優先順位をつけて、県に申請しています。市の方では、放送設備を優先させてもらっています。各自治会で放送設備も必要なところは、ほぼ設置されていると思いますので、しばらく、お待ちいただきたいと思います。</p>	—	・市民安全部
14	・国道にも「石鎚山のあるまち西条」という看板があるが、石鎚山に登っている人は少ないと思う。10数年前は学校行事で山に登ることがあったが、事故があつてからは、山が危ないということで、海の方に移行した。地元の人あまり石鎚山に関心がないように思う。子どもの頃に、山に登らせる必要があると思うが、そのあたりどのように考えているか。	<p>【副市長】</p> <p>・以前は、少年自然の家に泊まって、石鎚山に登っていました。転落死の事故があつて以来、危ないということで、登ることがなくなったように思います。西条の子どもたちには、石鎚山系を知ってもらいたいと思っています。何とか、危なくないような形で、山に詳しい山岳ガイドの方と連携して、より多くの方に登ってもらいたいと思います。瓶ヶ森にヒュッテがありましたが、ヒュッテを除却して、避難小屋等の施設を作る検討をしています。石鎚ではなくても瓶ヶ森ならということも考えられるので、そのような視野で検討を進めたいと考えています。</p> <p>【市長】</p> <p>・山の事については、皆が上がっていかないといけないという状況を作っていきたいと思っています。横峰寺に行く遍路道が、国の指定史跡になりました。成就から山頂、土小屋から山頂への登山道を「日本文化遺産」にしていこうと、久万高原町と一緒に相談しています。「日本文化遺産」になったら、放っておいても人が来ます。そうすると、地元の人が上がっていかないといけないという状況になると思います。</p>	—	<p>・企画情報部</p> <p>・産業経済部</p>